

# 東部 NN 通信

= 第 57 号 =  
令和6年3月29日発行

## About—

「東部NN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回発行しています。

掲載希望の情報等がありましたら当部農村振興班までご一報ください。

今後ともよろしく申し上げます。

## Contents—

- 東部圏域「田んぼダム」普及啓発研修会の開催…………… 1
- 高収益作物栽培に係る研修会の開催、  
第3回農地集積戦略会議の開催…………… 2
- 多面的機能支払交付金に関わる中間確認の実施、  
能登半島地震への支援…………… 3
- 北上小学校収穫祭の開催、  
奥松島江の浜の自然を保全する会の設立…………… 4

## お知らせ ◀▶



当部の事業概要を収めた「石巻圏域の農業農村整備2023-2024」を発行しました。紙媒体の配布、[当部HP](#)で公開を行っています。

## 東部圏域「田んぼダム」普及啓発研修会を開催しました



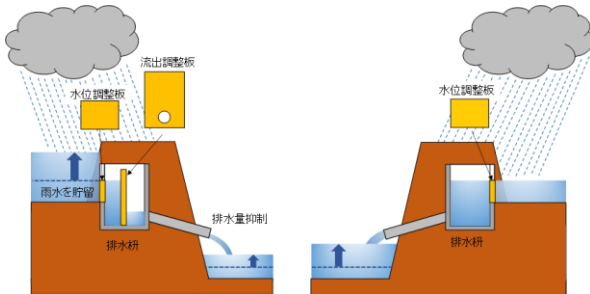
▲ 研修会の様子

令和6年3月6日水曜日、当部主催のもと東部圏域「田んぼダム」普及啓発研修会を石巻合同庁舎にて開催しました。

「田んぼダム」とは、作物の生産に影響を与えない範囲で、水田に降った雨を一時的に貯めておく取組であり、実施することで、実施地域や下流域の浸水被害のリスクを低減することが期待されています。

本研修会では、東北農政局の竹林氏より田んぼダムの効果や事例などについて講話をいただいたのち、当部より田んぼダムに関わる情報提供として、宮城県の農地整備事業における落水工柵の仕様と多面的機能支払交付金の加算措置についてお話をしました。

田んぼダムの取り組みは、取組面積が大きいとより大きな効果が期待できますが、実施拡大には取組農家の負担軽減が必要であり、地域ぐるみでの取組、支援が重要となりますので、今後も普及啓発を進めてまいります。



▲ 田んぼダムイメージ図



## Check

農村振興課作成 実験動画「仕組み丸わかり！模型で実験『田んぼダム～普段は田んぼ、時々ダム～』」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tanbodamu-jikken.html>



## 高収益作物栽培に係る研修会を開催しました



▲研修会の様子

令和5年12月19日火曜日、石巻合同庁舎にて当部主催のもと、「高収益作物栽培に係る研修会」を開催しました。

本県では、高収益作物の導入や拡大等を図り、豊かで競争力のある農業の実現を目指しています。

研修会では、「農業・園芸総合研究所」総括研究員の鹿野氏より、ほ場整備地区における高収益作物の栽培法について、「農事組合法人みらいす青生」代表理事組合長の穴戸氏より、ほ場整備事業を契機に発足した農業法人の事例について講和をいただき、高収益作物の栽培を行う上での課題や対策について理解を深めました。

## 第3回農地集積戦略会議を開催しました



▲農地集積戦略会議の様子

令和6年3月6日水曜日、3月7日木曜日にはほ場整備事業に取り組む7地区を対象に第3回農地集積戦略会議を開催しました。

当会議は、ほ場整備事業を実施している各地区における農地集積や営農計画等の事業進捗や課題などを情報共有し、各地区の抱える問題等への対策を検討するため、関係機関により年間3回程度開催されるもので、今回が3回目となり今年度最後の開催となりました。

会議では、各地区における令和5年度の農地の集積・集約が順調に進んでいることが報告されるとともに、各地区担い手の法人化や転作の取り組みの対応等の検討が行われました。

今回の会議で検討した内容をもとに、令和6年度の農地集積を推進します。



農村振興課作成 農業用ため池における水難事故防止用啓発動画

「【ため池事故防止】まもろうね！ためいけルール」

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonshin/tameike-rule.html>



## 多面的機能支払交付金に関する中間確認の実施



▲中間確認の様子

令和5年11月9日木曜日より、東部地方振興事務所管轄内で多面的機能支払交付金を活用し活動している46の活動組織を対象に中間確認を実施しました。

中間確認では、活動計画書に位置付けた活動の実施状況や記録、金銭の出納状況や残高、総会の開催状況等から適切な活動、書類整理が行われているかを確認しました。

併せて、今年度活動期間を終了する組織が多くあることから事業計画の再認定申請手続きについて説明を行いました。

中間確認にて指摘、指導を受けた事項については、速やかに改善していただきますようお願いいたします。

## 能登半島地震への支援を行いました



▲農地被害状況確認の様子

令和6年2月26日月曜日から3月1日金曜日までの5日間、能登半島地震により甚大な被害を受けた石川県へ当部より石黒技術主任主査が派遣され、農業被害を把握するため調査を行いました。

能登半島地震では、各地で農地の隆起、亀裂、用水路が壊れるなど、深刻な打撃を受けています。

派遣された石黒技術主任主査は、奥能登農林事務所の管轄である輪島市・珠洲市・鳳珠郡（穴水町、能登町）の2市2町の農地被害額の算定を主に行いました。

宮城県では、現在も継続して能登町への支援を行っており、一刻も早い復興のため支援を続けています。



▲派遣職員集合写真  
(後方左から3番目石黒技術主任主査)

### 令和6年能登半島地震特設ページを開設しています



支援・取組状況の詳細は令和6年度能登半島地震特設ページをご覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/densho/fukukou-stamp/gienkin.html>

## 北上小学校で収穫祭が開催されました



令和5年12月19日火曜日、北上小学校にて、北上地区保全会、北上沿岸土地改良区の協力のもと、小学3年生の児童が「田んぼの学校」の農業体験学習を通じて収穫した、みやこがねもちを使用して餅つきを行いました。

収穫祭では、農業体験学習に携わった方に対し、児童から感謝の言葉をいただき、ダンスや歌などの出し物を披露していただきました。その後、児童とともにベーゴマやあやとり等といった伝統的な遊びを一緒に行い、世代を超えて交流を図りました。

最後には、臼と杵を使用して児童が餅つきを行い、試食をしました。

児童からは、「杵がとても重かった。」「お餅がとてもおいしくておなか一杯食べた。」等といった声があり、自分たちでついたお餅をおいしそうに食べていました。

北上小学校では、田植え体験、生き物調査、施設見学会、稲刈り体験を実施しており、農業・農村について関心と理解を深める活動が行われています。



▲ 感謝の会にて感謝状を贈る様子



▲ 餅つきの様子

### Topics

#### 「奥松島江の浜の自然を保全する会」が設立されました



▲ 江の浜海岸

東松島市宮戸地域の江の浜海岸は東日本大震災の津波被害を受け、海岸堤防と背後農地が再整備されました。これまで背後農地を活用してアスパラガスやミニトマト等の試験栽培を行ってきたほか、試験栽培を行ってきたほ場を会場とし、地元野菜等を味わう「宮戸島江の浜レストラン」が開催されてきました。

今回設立された、自然を保全する会は、会長に奥松島観光ボランティアの会事務局の木島氏、副会長には防災施設等を運営する貴凜庁(株)の三井氏、地域おこし協力隊の関口氏が就任しました。

本会は江の浜海岸を借り受け、草刈やゴミ拾い等の環境保全活動を実施するほか、イベントを開催することで交流人口の拡大を目指しています。



宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部（編集：農村振興班）

〒986-0850 石巻市あゆみ野五丁目7番地

（宮城県石巻合同庁舎4階）

Tel 0225(95)1411（内）2631

Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.lg.jp

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-sgsin-ns/>



▲ 部HP